

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ing Casa 西宮今津プロジェクト	階数	地上7階 地下0階
建設地	兵庫県西宮市津門宝津町57-2	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年3月1日
敷地面積	518 m <sup>2</sup>	作成者	達川 明姫
建築面積	349 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,030 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 78% (143 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 78% (143 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 78% (143 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 地域景観に配慮したデザインとした。 緑の少ない地域に多くに植樹を計画することで、地域景観の向上を図っている。	<b>その他</b> 敷地境界に、緑地及び植栽帯を設けることで緩衝帯を形成している。	
<b>Q1 室内環境</b> 遮音・断熱性に配慮した。 住戸部分の全てのサッシは遮音性能T-2、断熱性能H-1とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 駐車場の台数を設置義務台数より多く確保した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 周辺の環境に圧迫感を与えないよう淡いアースカラーを基調とし、落ち着いたデザインとした。 また、道路際に植栽帯をリズムカルに設け、緑を感じられるような計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明計画等の設備システムの高効率化に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 有害物質を含まない材料など、低環境負荷材を利用した。 また、躯体と仕上げ材、内装材と設備を容易に分別可能とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地外環境へ悪影響を与えないために、各種基準を満たすよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される